

第4学年 学活 略案

1 日 時 令和7年 月 日

2 学年 第4学年

3 題材名 「みんなが楽しく活動するための合言『平等』と『公平』」

4 本時の目標

- 「平等」「公平」の違いを知ることができる。
- 「公平」について自分なりの考えをもつことができる。

5 本時の展開

時間	活動内容	●手だて ○支援 ★評価
15分	<p>みんなが楽しく活動するための合言葉</p> <p>平等</p> <p>・スライドで「平等」について確認する</p> <p>1 リンゴ箱のシチュエーションを実際にロールプレイする</p> <p>発問：「この台を平等に配ってください。」</p> <p>子どもを指名して台を置かせる</p> <p>「これだとずるくはないですが見えない人がいます。」</p> <p>「では、これを全員が見えるようにするためにはどうしたらよいのでしょうか？」</p> <p>・その人の身長に合わせた個数を配る</p> <p>「では、実際にそのように配ってください。」</p> <p>子どもを指名して台を置かせる</p> <p>「これで全員見えることができました。」</p> <p>「これだとこの台を平等に配っていませんがみんなはどう思いますか？」</p> <p>「これはずるいですか？」</p> <p>・ずるくはない</p> <p>・見えない人がかわいそう</p> <p>・じぶんはズルいとは思うけどゆるす</p>	<p>●イラストをTVにうつしてイメージさせてからロールプレイを行うようにする。</p> <p>●子ども実態によっては「ずるいですか？」という問い合わせなくても良い。</p>
7分	<p>公平</p> <p>「この絵では、一人ひとりの身長が違いますね。みんなももちろん一人ひとりの身長は違いますよね。初めから条件が違うので</p>	

す。」

「ここで、みんなが見えるように一人ひとりに合わせた対応をのことを「公平」といいます。」

2 「平等」「公平」の違いを再度、確認する

平等

みんなに同じ条件（個数など）で対応すること

- ・友達同士おかしを分けたりする時

公平

人それぞれの違い（個性）を認めてお互いに助け合うこと「眼鏡や車いすなど」

10分

3 「平等」「公平」ジャッジクイズ

- ・係や当番が一人一役みんなにあること
- ・机やいすの高さ
- ・給食がみんなに配膳される
- ・給食で牛乳ではなく麦茶の子がいる

●どうしてそう思うのかを聞くようにする。不正解でも「理由まで考えられたことを価値付けする」

4 ボウリングでの事例から「公平」について自分たちで考える

小さい子がボウリングで投げる力がなくピンまで届きません。
「公平」にするためにはどんなことができますか？

- ・実際にどんなことで困っているかをスライドで提示する。

発問：この困っている事をヒントにどうなったらこの女の子も楽しめるのかを考えましょう。

●A3用紙をグループに1枚配り、考えをまとめるようにする。

●状況をイメージしやすくするためにイラストをTVにうつす。

8分

（「こんなのがあったらいいのにな」というアイデアもOKにするがあまりにも現実離れしたものにしないように促す）

- ・大人が一緒に投げる
- ・坂道をつくって転がるようにする
- ・坂道をもっと滑り台みたいに斜めにする
- ・グループで発表して共有する。

まとめ

（例）

みんなが過ごしやすく生活していくためには「公平」という考え方はとても大切。そのためにはまず一人ひとりの違い（個性）「得意なこと、苦手なこと」に気づく事が必要だね！
→その人ができるようにするためにどうしたらよいのかを考えたり、言葉のかけ方も変わってきたりするよ！

★「公平」についての自分なりの考えをもつことができる。

5 振り返り

ワークシートに記入する。

- ① 「公平」について分かった・分からなかった。
- ② バスケットボールでゴールに届かない子がいます。

その子と一緒に参加できるようにするためにはどうしますか？

- ③ 感想

★「公平」についての自分なりの考えをもつことができる。
(ワークシート)

必要物品：ワークシート、ロールプレイで使用する物（台3個、パーテーション大1個）